

校友会報

vol.

26

www.keiho-u.ac.jp/kouyuukai/

2022年12月18日発行



01	伴井会長挨拶
02	第12期大阪経済法科大学校友会役員
03	中井学長挨拶
04	第24回校友会総会開催報告
05	2021年度校友会収支決算・事業実施結果
06	2022年校友会事業計画・収支予算

07	校友会地域支部便り
09	校友地方議員座談会
11	校友インタビュー
14	第51回経法祭／卒業生ニュース
15	校友会公式YouTubeチャンネル開設

校友会会長
伴井 敬司

法学部 1期生



校友会会長の伴井敬司です。

コロナ感染問題が長期化し約3年になろうとしています。校友の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことかと存じ上げます。

校友会活動も人との接触を避け、密にならないことを前提とすれば活動に制限・制約を設けざるを得ない状況が近年であります。

その様な状況の中、本年の校友会総会はハイブリッド形式にて対面とオンライン併用の開催とさせていただきます。

三部構成とし、外部講師を招き第二部に講演会も予定させていただき、万全な体制にて実施すべきところ、オンラインの中断をはじめ、時間通りの進行も出来ずオンラインにてご参加いただいた校友の皆様には大変なご迷惑をお掛けしましたこと、大変申し訳なくお詫び申し上げます。

また、事業報告・事業計画・決算・予算報告も簡略化しすぎ、説明不足であ

った事重ねてお詫び申し上げます。

本会報にて詳細報告させていただいておりますのでご確認下さる事お願い申し上げます。

大学は昨年創立50周年を迎えました。

校友会の設立もまもなく25周年を迎えようとしている中、過去を見直し、今後の発展に向け会則の見直しから新たな活動の模索と構築を当面の課題として取り組んでおります。

その一つが校友会ユーチューブの開設であり、定期的発信に着手しております。

校友会とは何か？原点に戻り、今後に繋げたく校友の皆様におかれましては、校友会に興味をもって下さる事お願いいたします。

校友会の未来は自らが創り出すものです。

校友会へのご協力・ご参加をよろしくお願い申し上げます。

校友会の歴史

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
主な活動	6/26 校友会創立	1期 伴井会長 安田副会長 勝部副会長			校友会HP開設	● 父母会役員との交流会		● 第1回 女性校友の集い	● 第2回 女性校友の集い	● 第3回 女性校友の集い
支部	●1999年設立支部 香川支部 沖縄支部 愛知支部 広島支部	●2000年設立支部 岡山支部 石川支部	●2001年設立支部 東京支部 福岡支部	●2002年設立支部 高知支部				● 専門部会（組織・企画・広報）設置 （2005年度～2010年度）		●2008年設立支部 三重支部
学生支援						● 経法祭 模擬店参加	● 学位記 カバール 寄贈開始			



第12期大阪経済法科大学校友会役員

■任期：2021年4月～2023年3月（2年間）

役職	正会員		特別会員		人数
	氏名	期	氏名	備考	
会長	伴井 敬司	1期生	—	—	1名
副会長	阪本 誠	4期生	—	—	3名
	中村 和義	9期生			
	三戸 泰樹	20期生			
常任幹事	濱口 元洋	7期生	—	—	9名
	山下 浩希 (石川支部長)	10期生			
	中津 広志	13期生			
	小林 保重	22期生			
	石山 陽浩	25期生			
	濱田 亜紀	27期生			
	山内 綾	29期生			
	安田 貴則	29期生			
	富山 源太郎	32期生			
幹事	中須 秀治 (三重支部長)	1期生	春山 勝哉 橋本 久 丸井 龍夫	事務局次長兼庶務課長 退職教員 退職職員	24名
	栴田 博昭 (広島支部長)	3期生			
	八瀬林 肇	6期生			
	石塚 央 (香川支部長)	6期生			
	元成 栄次郎	6期生			
	北垣 義弘	7期生			
	前吉 克明	8期生			
	岩井 司 (高知支部長)	10期生			
	岸 泰至 (愛知支部長)	12期生			
	新里 靖 (沖縄支部長)	14期生			
	柴田 剛	14期生			
	江川 充彦	17期生			
	入嶋 修一 (福岡支部長)	20期生			
	福岡 慎吾 (東京支部長)	20期生			
	出口 寛	22期生			
	山崎 亮介	33期生			
	山口 秀哉 (岡山支部長)	37期生			
	花田 徹	37期生			
	徳留 優希	39期生			
角屋 志帆	44期生				
鎌田 松輝	48期生				
会計監査	瀬尾 泰洋	33期生	—	—	2名
	岸本 香菜子	35期生	—	—	
顧問	—	—	中井 英雄 (特別顧問)	学長	1名
					合計 40名

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
校友会事務局開設 10周年 校友会創立		●第4回 女性校友の集い 大阪経済法科大学 創立40周年	八尾駅前キャンパス 開設	校友会公式FB 開設				●教育後援会役員 との交流会		20周年 校友会創立		大阪経済法科大学 創立50周年	校友会公式 YouTube チャンネル開設

●経法祭では10年連続 「餅つき」を実施



大阪経済法科大学 学長
中井 英雄



大阪経済法科大学は、1971年の創立時に「経済と法律が社会の両輪」、「実学の精神」、「人権の伸長と国際平和への貢献」を建学の理念に掲げ、この間、その「現代化」に取り組んでまいりました。本学は、創立当初、経済学部と法学部の2学部で開学しましたが、現在は経済学部・経営学部・法学部・国際学部・大学院経済学研究科の4学部1研究科を擁する大学へと発展を遂げてきました。

さて、皆様もご存じのとおり、2020年年初より世界的な広がりを見せた新型コロナウイルスは、本学学生たちのキャンパスライフや社会生活に大きな変化をもたらしました。しかし、このような状況下においても、私たちは「学修者本位の教育」を貫き、昨年度の公務員合格者は83名と過去最高の実績を残すことができ、この3年間で卒業生11名が司法試験に合格、3名が公認会計士試験に合格したほか、大阪府内の私立大学の就職率ランキングでは、常に2位、3位を維持することができました。

この「学修者本位の教育」とは、入学した学生たちの力を確実に一定水準まで引き上げ、その知識とスキルを活かす出口の就職へと繋げることです。その結果、高校教員からは「あの大学に行けば、良い意味で鍛えられる。少し大変だが、社会に必要な力が身につく、何よりも出口である就職がよい」という、定評を得つつあります。

卒業の質保証としては、就職とともに、4年間の学修の集大成として卒業論文を

書かせることに力を入れています。そして卒業式の日には、卒業証書とともに、ゼミ単位の卒業論文集を添えています。本学の徹底した少人数教育は、教職員全員が学生一人ひとりの成長に真摯に向き合い、各学部の専門学修を徹底しているからこそ、「社会や未来が求める人材」を輩出し続けていけると自負しています。

また、本学ではコロナ禍にあっても、感染予防対策を徹底した上で、対面授業や課外活動をさせたほか、2021年9月にサンフランシスコ州立大学に18名の学生を派遣し、海外派遣の一部を再開させるなど、徐々にキャンパスライフの正常化を取り戻しております。

100年に1度と言われる新型コロナウイルス感染症、長引くロシアのウクライナ侵攻など、これまで予想もしなかった難題が世界で次々に起こる激変の時代において、私たちは今後も、教育研究や社会との連携などにおいて、建学の理念を実現するため、あらゆる可能性を追求していきたいと考えておりますので、校友会の皆様におかれましては、今後とも、後輩たちのためにご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本学は、教育重視の「硬派な」大学に変貌しつつあります。すでに校友会会員の皆様には、多大なるご支援をいただいておりますが、大阪経済法科大学の「明るい未来に向かって変貌しつつある姿」を引き続き暖かく、見守っていただければ、幸いに存じます。

9月3日(土) 第24回大阪経済法科大学 校友会総会が開催されました

会場: シェラトン都ホテル大阪 3階『金剛の間』 14時30分~17時30分

参加者数: 78名(本部役員23名は、当日対面で参加)

進行: 中村副会長



伴井会長開会挨拶



伴井会長(左)・中井政嗣氏(右)



交流会ゲスト平阪佳久さん

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式に切り替え、総会を開催いたしました。

第1部総会では、伴井校友会会長(法学部1期生)による開会挨拶にはじまり、中井学長(校友会顧問)によるビデオメッセージ、濱田剛史高槻市長(法学部13期生)によるお祝いメッセージが紹介されました。

その後、三戸校友会副会長(経済学部20期生)から2021年度事業結果及び決算報告、2022年度事業計画及び予算報告が行われました。

第2部の講演会には、千房株式会社代表取締役会長中井政嗣氏を講師にお招きし、『人間ってかかっているから伸びるんや』をテーマにご講演いただきました。

第3部オンライン交流会では、平阪佳久さん(経済学部7期生)をお迎えし、オンラインで参加した校友の皆さんと終始和やかな雰囲気の中、座談会が開催され、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

最後は、オンライン上で学歌『われらが白き学舎に』が流され、新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束と来年の総会・懇親会での再会を願い、阪本校友会副会長(経済学部4期生)の閉会の挨拶をもって第24回校友会総会を閉会しました。

今年度のオンライン総会運営では、実行

委員の不出席により、ご参加の皆様にはご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

また、来年の総会・懇親会にも多くの方々にご参加いただけるよう、校友会役員一同、準備に取り組んでまいりますので、何卒よろしく願いいたします。



学歌斉唱

■2021年度大阪経済法科大学校友会 事業報告

主な事業内容

1. 総会の開催(年1回)

校友会報25号上での報告総会

2. 幹事会・常任幹事会の開催

(1) 幹事会の定例開催

- 第1回 4月 (WEB 審議)
- 第2回 6月 (対面及びWEB 審議)
- 第3回 9月 (WEB 審議)
- 第4回 12月 (対面審議)
- 第5回 2月 (WEB 審議)

(2) 常任幹事会の開催

- 第1回 5月 (WEB 審議)
- 第2回 8月 (WEB 審議)
- 第3回 11月 (対面審議)
- 第4回 2月 (WEB 審議)

3. 地域支部活動支援

第18回高知支部総会開催
(2021/12/20)

4. 会報広報の充実

校友会報第25号の発行

5. 在学生支援

卒業記念品



■2021年度 大阪経済法科大学校友会 収支決算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	執行額	差異	執行率(%)
1. 校友会費				
準会員	17,000,000	17,527,500	527,500	103.1%
正会員	300,000	460,000	160,000	153.3%
特別会員	0	0	0	0.0%
2. 総会・懇親会参加費	0	0	0	0.0%
3. 受取利息	500	21	-479	-95.8%
4. その他収入	0	16,000	16,000	0.0%
小計	17,300,500	18,003,521	703,021	104.1%
前年度繰越金	27,517,118	27,517,118	0	0.0%
収入の部合計	44,817,618	45,520,639	703,021	101.6%

支出の部

項目	予算額	執行額	差異	執行率(%)
1. 総会				
総会等運営費	2,200,000	0	-2,200,000	0.0%
印刷製本費	0	0	0	-
旅費交通費	1,000,000	0	-1,000,000	0.0%
通信費	0	0	0	-
	3,200,000	0	-3,200,000	0.0%
2. 幹事会				
会議費	400,000	152,169	-247,831	38.0%
旅費交通費	1,500,000	273,740	-1,226,260	18.2%
部会活動費	100,000	0	-100,000	0.0%
	2,000,000	425,909	-1,574,091	21.3%
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	30,000	-570,000	5.0%
旅費交通費	1,200,000	33,280	-1,166,720	2.8%
活動援助費	1,200,000	1,217,250	17,250	101.4%
支部設立準備費	0	0	0	-
	3,000,000	1,280,530	-1,719,470	42.7%
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,000,000	819,146	-180,854	81.9%
通信費	2,000,000	2,086,242	86,242	104.3%
報酬委託手数料	1,000,000	355,675	-644,325	35.6%
	4,000,000	3,261,063	-738,937	81.5%
5. 学生支援				
卒業記念品費	810,000	686,400	-123,600	84.7%
卒業祝賀企画費	0	0	0	-
経法祭支援費	600,000	0	-600,000	0.0%
学生活動援助費	0	0	0	-
在学生支援費	5,500,000	0	-5,500,000	0.0%
	6,910,000	686,400	-6,223,600	9.9%
6. 共通・事務費				
印刷製本費	120,000	32,317	-87,683	26.9%
消耗品費	60,000	29,572	-30,428	49.3%
通信費	600,000	128,264	-471,736	21.4%
報酬委託手数料	10,000	8,062	-1,938	80.6%
人件費	1,500,000	1,462,806	-37,194	97.5%
渉外費	20,000	0	-20,000	0.0%
雑費	20,000	10,000	-10,000	50.0%
	2,330,000	1,671,021	-658,979	71.7%
7. 予備費	14,000,000	0	-14,000,000	0.0%
	14,000,000	0	-14,000,000	0.0%
小計	35,440,000	7,324,923	-28,115,077	20.7%
次年度繰越金	9,377,618	38,195,716	28,818,098	407.3%
支出の部合計	44,817,618	45,520,639	703,021	101.6%

■2022年度大阪経済法科大学校友会 事業計画

1. 第24回校友会総会

開催日：9月3日（土）

会場：シェラトン都ホテル大阪
3階『金剛の間』

2. 幹事会・常任幹事会の開催

(1) 幹事会の定例開催

- 第1回 4月（対面審議）
- 第2回 7月（対面審議）
- 第3回 9月（対面及びWEB審議）
- 第4回 10月（WEB審議）
- 第5回 1月（対面審議予定）

(2) 常任幹事会の開催

- 第1回 4月（WEB審議）
- 第2回 6月（対面審議）
- 第3回 7月（WEB審議）
- 第4回 10月（WEB審議）
- 第5回 12月（WEB審議）

3. 地域支部活動支援

- ①支部総会の開催
- ②支部活動援助費の交付

4. 会報広報の充実

- ①校友会報第26号の発行
- ②校友会公式You Tube開設

5. 在学生支援

- ①経法祭参加企画の実施
- ②卒業祝賀企画の実施



■2022年度 大阪経済法科大学校友会 収支予算書

（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

項目	2021年度 予算額	2022年度 予算額(案)	増減額	増減比率(%)
1. 校友会費				
準会員	17,000,000	17,500,000	500,000	2.9%
正会員	300,000	300,000	0	0.0%
特別会員	0	200,000	200,000	-
2. 総会・懇親会参加費	0	500,000	500,000	-
3. 受取利息	500	500	0	0.0%
4. その他収入	0	0	0	-
小計	17,300,500	18,500,500	1,200,000	6.9%
前年度繰越金	27,517,118	38,195,716	10,678,598	38.8%
収入の部合計	44,817,618	56,696,216	11,878,598	26.5%

支出の部

項目	2021年度 予算額	2022年度 予算額(案)	増減額	増減比率(%)
1. 総会				
総会等運営費	2,200,000	4,000,000	1,800,000	81.8%
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0	0.0%
旅費交通費	0	1,200,000	1,200,000	-
通信費	0	2,000,000	2,000,000	-
	3,200,000	8,200,000	5,000,000	156.3%
2. 幹事会				
会議費	400,000	400,000	0	0.0%
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0	0.0%
部会活動費	100,000	100,000	0	0.0%
	2,000,000	2,000,000	0	0.0%
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	600,000	0	0.0%
旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0	0.0%
活動援助費	1,200,000	1,200,000	0	0.0%
支部設立準備費	0	200,000	200,000	-
	3,000,000	3,200,000	200,000	6.7%
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,000,000	1,200,000	200,000	20.0%
通信費	2,000,000	2,000,000	0	0.0%
報酬委託手数料	1,000,000	2,100,000	1,100,000	110.0%
	4,000,000	5,300,000	1,300,000	32.5%
5. 学生支援				
卒業記念品費	810,000	1,700,000	890,000	109.9%
卒業祝賀企画費	0	1,000,000	1,000,000	-
経法祭支援費	600,000	600,000	0	0.0%
学生活動援助費	0	0	0	-
在学生支援費	5,500,000	5,500,000	0	0.0%
	6,910,000	8,800,000	1,890,000	27.4%
6. 共通・事務費				
印刷製本費	120,000	120,000	0	0.0%
消耗品費	60,000	60,000	0	0.0%
通信費	600,000	600,000	0	0.0%
報酬委託手数料	10,000	10,000	0	0.0%
人件費	1,500,000	1,500,000	0	0.0%
渉外費	20,000	20,000	0	0.0%
雑費	20,000	20,000	0	0.0%
	2,330,000	2,330,000	0	0.0%
7. 予備費	14,000,000	13,600,000	-400,000	-2.9%
	14,000,000	13,600,000	-400,000	-2.9%
小計	35,440,000	43,430,000	7,990,000	22.5%
次年度繰越金	9,377,618	13,266,216	3,888,598	41.5%
支出の部合計	44,817,618	56,696,216	11,878,598	126.5%

全国に10支部 活動の輪を広げ、 母校の発展に貢献します!



広島支部
支部長 柘田 博昭(3期生)

福岡支部
支部長 入嶋 修一(20期生)

沖縄支部
支部長 新里 靖(14期生)

岡山支部
支部長 山口 秀哉(37期生)

高知支部
支部長 岩井 司(10期生)

石川支部
支部長 山下 浩希(10期生)

香川支部
支部長 石塚 央(6期生)

東京支部
支部長 福岡 慎吾(20期生)

愛知支部
支部長 岸 泰至(12期生)

三重支部
支部長 中須 秀治(1期生)

石川支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	山下 浩希	10期生
支部幹事	西端 正和	10期生
支部幹事	山崎 太一郎	18期生
支部幹事	西 博文	22期生
会計監査	天池 恒善	23期生

東京支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	福岡 慎吾	20期生
副支部長	前田 康規	25期生
支部幹事	川口 尚二	17期生
支部幹事	渡邊 祥子	22期生

愛知支部役員

役職	氏名	卒業期
顧問	中町 守人	1期生
支部長	岸 泰至	12期生
副支部長	神戸 剛	11期生
副支部長	二村 総一郎	13期生
副支部長	島田 博史	19期生
支部幹事	水野 茂文	4期生
支部幹事	大中 誠一	7期生
支部幹事	大谷 彰	14期生
支部幹事	近藤 滋之	14期生
支部幹事	石井 淳	16期生
支部幹事	丹波 信二	18期生
支部幹事	荒井 健	20期生
支部幹事	野口 健広	20期生



三重支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	中須 秀治	1期
副支部長	濱口 元洋	7期
副支部長	野田 昌義	11期
副支部長	飯田 智博	15期
副支部長	野村 裕基	23期
支部幹事	中村 喜彦	11期
支部幹事	中垣内 裕治	12期
支部幹事	濱田 亜紀	27期
支部幹事	濱口 陽平	38期
支部幹事	谷川 栄都子	38期
会計監査	武久 智彦	43期



広島支部役員名簿

役職	氏名	卒業期
支部長	枅田 博昭	3期生
副支部長	橘高 功	3期生
副支部長	海田 世幸	8期生
支部幹事	中原(戸野広)直行	6期生
支部幹事	武田 保秀	18期生
支部幹事	岩田 通男	24期生
支部幹事	大前 慶幸	31期生
会計監査	内藤 敬典	27期生



岡山支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	山口 秀哉	37期生
副支部長	藤原 健	19期生
副支部長	高取 宏史	21期生
会計監査	大平 晋司	36期生
支部幹事	樋上 有司	4期生
支部幹事	緒方 智	6期生
支部幹事	萱野 剛	13期生
支部幹事	中西 郁夫	6期生
支部幹事	廣野 彰弘	11期生
支部幹事	長尾 直樹	17期生



香川支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	石塚 央	6期生
副支部長	上田 英雄	6期生
副支部長	松本 規	7期生
副支部長	坂東 孝典	21期生
支部幹事	下道 一朗美	6期生
支部幹事	河野 和教	14期生
支部幹事	川上 博	15期生
支部幹事	田岡 博和	17期生
会計監査	岡部 利次	20期生
支部幹事	北山 高司	20期生
支部幹事	高橋 晋也	23期生
支部幹事	松木 千佳	23期生
支部幹事	丸岡 勇介	33期生
支部幹事	白川 雄基	41期生
支部幹事	鈴木 崇大	42期生



高知支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	岩井 司	10期生
副支部長	中島 修治	13期生
副支部長	松本 美穂	22期生
副支部長	弘田 哲也	21期生
支部幹事	岩佐戸 律	9期生
支部幹事	徳橋 雅彦	16期生
会計監査	五百蔵 恭介	25期生



沖縄支部役員名簿

役職	氏名	卒業期
支部長	新里 靖	14期生
副支部長	嘉数 武	19期生
副支部長	平安名栄彦	23期生
副支部長	新垣清乃	33期生
支部役員	仲程孝之	18期生
支部役員	平良 登	35期生
支部役員	玉城史沙世	39期生
支部役員	比嘉幹夫	36期生
支部役員	伊仲未里(旧姓)新崎	40期生
支部役員	宮里ふみか	40期生
支部役員	藤井大地	42期生
支部役員	友利青海	43期生
支部役員	湖城貴裕	43期生
支部役員	大城奈美	44期生
会計監査	玉城史沙世	39期生



福岡支部役員

役職	氏名	卒業期
支部長	入嶋 修一	20期生
副支部長	花田 徹	37期生
幹事	大津山 敬史	18期生
会計監査	花田 徹 (兼)	37期生



**経法大卒の政治家として
市民の安全と豊かな生活を守る！**

- 新潟市議会議員 法学部10期生 古泉幸一さん (新潟県新潟東工業高校出身)
- 大阪府議会議員 法学部15期生 岡沢龍一さん (三重県日生学園第一高校出身)
- 守口市議会議員 法学部33期生 梅村正明さん (大阪府守口東高校出身)
- オブザーバー 法学部48期生 鎌田松輝さん (大阪府英真学園高校出身)

我が経法大校友の中には地方議員として活躍している校友もいます。そこで今回3名の方々にお集まりいただき、今年春に卒業したばかりの政治家志望の鎌田松輝さんを変えて政治を志したきっかけや政治家としての喜び等を語り合っていました。

司会 常任幹事 山下浩希

山下: 今日はお忙しい中、花岡キャンパスまでお集まりくださりましてありがとうございます。まずは自己紹介を兼ねて大学時代の思い出をお話しいします。

古泉: 今日大学に卒業以来初めて来て物凄い変貌に驚いています。私が経法大に来たのは関西の大学の中から神戸の大学と経法大に絞り「大阪の方が都会だろう」という理由で経法大を選び入学しました。都会と思って来てみたら山の麓に在りましたが、開学してまだ10年目で野心溢れる学風に変化を感じました。ゼミの先生から「大学は学問を学ぶだけでなく自分が将来進む方向性を決める場所である」と言われ、東花園で下宿をしながら単位も2年でほとんど取り、ダンスサークルを自分で作って活動しました。このように積極的に行動したことが、現在の政治家としての活動に活かされています。



岡沢: 私は古泉先輩と真逆で夜は毎日遊びまわり、学校へは行ってましたが、授業中睡魔に襲われて寝てしまう時間も多かったです。4年を終えても単位が不足して卒業が出来ず、5年目は親に頼らず自分でアルバイトをして稼いだお金で授業料等を払い卒業しました。

梅村: 法学部に進みたいと高校時代から考えていて、経法大には指定校推薦で入るという手段もあったのですが、1年浪人を経て経法大に入りました。いろいろ思うことがありましたが、ここで充実した学生生活を送ろうと思い直し、真面目に勉強し単位もしっかり取り北京大学に交換留学もしました。

もともと将来政治家になりたいという想いがあったので、在学中から選挙の手伝いにも行ったりしていました。

鎌田: 私は今年卒業したばかりですが、在学中は校友会活動にのめり込み、経法祭の企画や準備に明け暮れていました。

山下: 経法大を卒業し社会人になり、政治を志すきっかけ等をお話しいしてください。

岡沢: 家業の不動産業を継ぎ会社を運営していたのですが、当時政治でお金に関する事件などが多発し、それがどうしても許せなくて、それを正せるのは「俺しかおらんやろ!」と、



会社を弟に譲り枚方市議会議員選挙に立候補しました。

梅村: 私は小学6年生の時に『20年後の私』というのに「政治家になっている」と書いているのです。具体的に政治家として何がしたいかは考えていなかったのですが、中学・高校・大学生になっても漠然と思いついていました。経法大を卒業し大学院浪人を経て議員秘書や政党本部で働きながら勉強し政治家としての想いを具現化していきました。

古泉: 大学を卒業後、実家が商売をしていたので大阪のお菓子の商社に丁稚奉公で入り4年半勤めました。その後新潟に戻り家業を継ぎました。地方の経営者は殆どがそうなのですが、先ず商工会議所とか青年会議所等に入り町づくりをするんです。その町づくり活動をしている時に『平成の大合併』というのがあり、平成17年に自分の町が新潟市に吸収され無くなるということになりました。「議会にこの町からも代表者を出さなくては・・・」ということで地元の方々から推され立候補することになりました。ただ、結婚する時に妻に「政治家にはならない」と約束してたんですが裏切ってしまう結果になり、結婚当初は亭主関白でしたが、今では私の食事は飼っている猫の餌より後という扱いです(苦笑)。

山下: 鎌田さんはどうして政治家を目指すようになったのですか？

鎌田: 高校の生徒会活動で毎年被災地に支援物資やカンパで集めた義援金を送ったりしていたのですが、東日本大震災から6年経った高校2年の時に社会福祉協議会が出していた『里帰りバス』に乗車させて頂いて初めて東北の被災地に行きました。その時まだまだ復興途中の現実を目の当たりにして、自分の住んでいる町も地震がきたら同じようになるのでは・・・と思い、地元に戻って市議会を調べたところ、『防災』に力を入れて取り組んでいる議員がいなかったのです。それがきっかけで政治に関心を持つようになりました。そして経法大に入り元府議会議員の先生から多くの議員の方々を紹介してもらい、インターンシップを経験させていただきました。去年地元で『防災』を政治課題として取り組んでいる候補者の応援を初めてやってみ

て、益々政治に関わりたいと思うようになり、現在は前職の政治家事務所で勉強させて頂いております。

山下:素晴らしい志を持ってやっているんですね。それでは鎌田さんから先輩方へ何か質問とかあればどうぞ。

鎌田:来年の春に統一地方選挙がありますが、皆さんこれまでの選挙で当選するためにどのような活動をされたのかお聞きしたいです。

梅村:私は前回初めて当選させて頂いたのですが、国政選挙ならその時の流れや政党の勢いとかで当選することもあります。地方自治体の選挙はやっぱり多くの人と会って話をすることが大切だと思います。それから駅立ちをして想いを訴えたり、自分を紹介するリーフレットを配って見てもらったりとか、世間で「どぶ板」と言われるような足を使った地道な運動の継続が当選に繋がったのではないかと思います。



岡沢:地方議員の選挙は政党以上に個人の力が大切です。自腹でお金も必要です。だからしっかり働いてお金を溜めて備えなくてはなりません。

梅村:今、お金の話が出ましたが、私も20代後半の時、近所の人に「今度立候補します」と言っていたのですが、まだまだ人脈とお金に乏しく、35歳でやっと立候補できました。人脈もお金も人から借りるのではなく、自分で調達する努力と能力が必要ですね。

古泉:私は選挙で「俺は推されて出たんだ」というおごりがあり、1回目は風に乗って当選しましたが、2回目の選挙では落選しました。落選して分かったのですが、選挙で一番大切なことは戦略です。日頃から地域の皆さんと会話をしてやることをしっかりやるということが大切です。「選挙は人気投票でない」ということです。

山下:皆さん議員になられていろいろ御苦労もあったと思いますが、政治家として「これをやり遂げた!」というものがありましたらお話しください。

古泉:市会議員の仕事は市民の安全と豊

かな生活を守ることです。議員は条例という法律を作れるので、執行部提案の条例案の審議だけでなく、地域の為の条例を作ろうと自分一人で作り成立させました。それを見た他の若い議員達が触発されて、この3年で会派から5本の条例案を出しました。それが議会の活性化に繋がってきています。

それから議員というのはアイドル歌手と同じで、みんな自分が一番輝くセンターに立ちたいという人の集まりです。当時の市議会と同じ政党に属しながら会派が3つに分裂していましたが、前回の選挙の後一本化に成功し、単独過半数を有する会派にまとめたのもこれまでの政治家人生の中で自分がやり遂げたことのひとつです。議会を安定させ市民の為の条例を円滑に通す為にいいことをしたと思っています。

岡沢:凄いリーダーシップですね。現在新潟市議会で議長を務められているのも頷けます。私はまだ成し遂げたと言えるようなことはありませんが、私が政治家として誇れるのは、市民から頼まれたら直ぐ動くということです。勿論、出来る事と出来ない事がありますが、出来ない事も放置せず対応をしています。現在私は府議ですが、市民からの相談・要望の8割は身近な市政相談です。これが私たちの仕事だと思っています。

梅村:私も市民の方々に寄り添い耳を傾け応えていきたいと思います。たまにまったく行政に関係のない家庭の問題も聴くこともあります。

山下:議員を目指す鎌田さんにアドバイスをお願いします。

古泉:この若さで『防災』がきっかけで

政治を志したって凄いですね。政治家としてのテーマを持つのは素晴らしいです。議員の遣り甲斐は人に頼りにされることです。地域の人々に頼りにされる人間になって下さい。

岡沢:情熱です!それしかありません!!そして自分を絶対応援してくれる友人を一人一人創ることです。まずは小学校中学校の時の同級生から。

梅村:明らかに自分の支持者でない人とも誠実に関わるのが大切だと思います。人と人は必ずどこかで繋がっているの、常に意識してください。

鎌田:今、先輩方からエールを頂いて感謝です。頂いたアドバイスを今日から実行して、何としても当選して地域に貢献できるように頑張りたいと思います。



山下:最後に全国の校友の皆さんに一言お願いします。

古泉:卒業後、初めて大学に来ました。キャンパスが綺麗に拡充されて驚くと同時に母校の発展を嬉しく思いました。校友の皆様、学生の皆様も含めて活躍を期待したいと思います。

岡沢:校友の皆様には、これから社会情勢がますます厳しくなりますが共に頑張りましょう!

梅村:一日一日を大切に「今日が一番若い」という思いで頑張ってください。

山下:今日はお忙しい中ほんとうにありがとうございました。皆さんの御活躍をお祈りします。



大阪環状線寺田町駅前のビルの3階にKSボクシングスクールというアマチュアボクシングのジムがあります。このジムの代表が経済学部16期生の渋谷清さん。ジムにお伺いし、これまでの人生やボクシング、母校経法大への想いを語って頂きました。

インタビュー：常任幹事 山下浩希

山下：今日はよろしくお願いします。まず渋谷さんは栃木県出身なのですが、どうして関東の大学に進まず大阪の経法大に進学されたのですか？

渋谷：高校時代は勉強せずボクシングばかりやっていたので、成績も芳しくなく進路指導の先生に「どこか遠くの大学に行きたい」と相談したら経法大を推薦して下さい、面接と小論文を書いて合格しました。寮も大学周辺の近い寮を選ばず、バイクでも20分位かかる柏原にあった寮に入りました。その寮には15名くらいの寮生がいて、3浪して国立大学進学を諦めて経法大に入った先輩や私のように勉強が苦手な寮生など個性的な人ばかりで、いろんなことをそこで教わり大人になりました(笑)。

山下：経法大でもボクシング部に入られたんですか？

渋谷：いいえ。ボクシング部に入らず子供の時からアニメが好きだったのでアニメーション研究会に入りました。このクラブは文化会クラブなのに空手や弓道をやっていたといういわゆる体育会系っぽいメンバーも大勢いて、映画を製作したりして楽しんで活動し、3回生の時には部長も務めました。2回生の時に、新光ボクシングジムに通っている友人がいて、そのジムに日本チャンピオンがいるというので見学にいきました。それがきっかけでジムに通うようになり、そこで「プロにならないか」と誘われたりもしましたが断り、練習だけをしていました。

47歳でジム起業

山下：卒業後は？

渋谷：仕事をしながら26歳頃まで通い続けたのですが、運送業の仕事が忙しくなり、一旦ボクシングから離れました。30歳の頃には、仕事も落ち着いてきたので、36歳までジムでトレーナーをしていました。37歳



ボクシング部が復活したら協力したい!!

渋谷 清さん(経済学部16期生)

KSボクシングスクール代表(栃木県作新学院高等部出身)

の時、そのジムから離れ、自分で公民館等を借りてボクシングを教えるようになり、10年後の2015年5月に現在の場所でボクシングスクールをオープンしました。

山下：47歳で自分のジムを構えて起業するって、年齢的にちょっと遅いというか・・・奥様等周りの方々の反対はなかったのですか？

渋谷：ありました(笑)。実はジムをオープンする1年前に妹の夫が白血病で3年半の闘病の末亡くなったのです。彼のお葬式の時「どっちみち人間いつかは死ぬ。それなら好きなことをして悔いなく死にたい!」と思ったのです。それが起業するという決断の後押しをしてくれました。しかし現実には甘くなく、最初の5年間はアルバイトをしながら凌ぎました。現在はお陰様で軌道に乗り、遠く和歌山県から通っている会員さんもいます。

山下：この仕事の遣り甲斐はなんですか？

渋谷：選手育成では、ここから巣立ってプロになり、メダルを持って見せに来てくれた時ですね。一般の会員さんでは、女性の方が「トレーニングでダイエットに成功した」と喜んで下さった時が嬉しいですね。

山下：将来の夢をお聞かせください。

渋谷：今のジムをもっともっと大きく発展させたいと思います。

それから、大学を卒業してから経法大とはまったく接点がなく、校友会行事にも参加していませんでしたが、1年ほど前、イン

ターネットで校友会のfacebookグループページを知りメンバーに加わりました。それがきっかけで大学のホームページ等を見ると、現在ボクシング部が無いという事を知りました。私は在学中ボクシング部には入っていませんでしたが、もしボクシングに興味があるという学生達がいたら私でよければ練習等のお手伝いをさせて頂ければと思っています。

山下：素晴らしい夢ですね。ボクシングをやりたいという学生や活動拠点の確保等、いろいろ超えなくてはならないハードルがあると思いますが、ボクシング部OBの校友も喜んで協力してくれるのではないのでしょうか。僕も側面から応援させて頂きます。今日はお忙しい中、お時間を作って下さりましてありがとうございました。

※facebookをしている方は「大阪経済法科大学校友会」で検索し是非、グループに参加リクエストして下さい。校友会の活動状況や校友の活躍、母校の近況等を発信し交流しましょう!





未来を見据えて
証券会社を業態転換

山田 明弘 さん (経済学部19期生)

株式会社だいとく投資ビレッジ代表取締役社長
(愛知県昭和高校出身)

名古屋に日本で一番最初に証券会社から IFA (金融商品仲介業) に業態転換させた会社があります。その業態転換を経営者として考え決断し数々の困難を乗り越え実現させたのが経済学部19期生の山田明弘さんです。身振り手振りを交えて仕事への想いを熱く語って下さいました。

インタビューー：常任幹事 山下浩希

山下: 山田さんとは2年前に校友会の facebook グループに加わって頂いたのがきっかけで知り合い、1年前には高知の中澤清一さん(経済学部11期生(株)四国管財会長・(株)山翠園社長)と3人でオンラインで飲みながら語り合ったりしましたね

山田: 先日山下さんから「10時から2時間位空いてませんか?」と連絡が入り、また飲み会かと思ひ「夜ですか?」と返信してしまいましたね(笑)。

山下: 御免なさい。要件を言わなかったですね。今回は校友会報に載せるためのインタビューなんです。どうぞよろしくお願いいたします。それではまず、山田さんは経法大に入るまではどんな少年時代を過ごされてましたか?

山田: 小さい頃から活発で学校の成績もそこそこ。高校もいわゆる進学校に入ったのですが入学してからまったく勉強しない、する気も起こらない、教科書も開かない、ただ学校に行ってるという状態になりました。当然受験勉強も形だけで何処も受からず、2次募集をしている大学を探して経法大を受験し入学する事が出来ました。

山下: 経法大に入ってからどのような学生時代を過ごされましたか?

山田: 初めて親元を離れ、近鉄河内山本駅近くのマンションで一人暮らしを始めました。特に目標も無く過ごしていた時、たまたまGW前の中国語の授業で、先生から「北京大学に留学しないか?」と熱心に誘われまして、行ってみようかな?という気になり留学しました。すると経法大の学生は勿論、他大学の方々とも親しくなり急に自分の世界が開花と言うか広がっていくのが実感でき、それから何度も留学を体験しました。その時一緒に学んだ留学仲間とは今でも繋がっています。

山下: 就職活動はどのようにされましたか?

山田: 父が名古屋で地場の証券会社を営っていたのですが、私はお金が商品という仕事が好きになれず、父とまったく違う仕事をしようと就職活動を始めました。でも「証券会社ってどんなところだろう?ちょっと見てみたい」と興味湧き数社回っている中で、東京のある証券会社の人事担当の方と意気投合し「働けならここ!」とその会社というよりその担当の方に惹かれて入社しました。それから5年間お世話になり、父が経営している大徳証券株式会社に入社しました。会社の後継者として入社したのですが前職での経験をまったく活用させてもらえず、下働きからのやり直しで、はっきり言って屈辱でしたが、今思うとそれは「会社にしっかり溶け込めよ」という親心だったのではないかと思っています。

山下: それから3年後に役員になり、お父様から会社を引き継がれる時に物凄い決断をされたのですね。

山田: はい。リーマンショック等あり、業界も厳しくなり2012年に証券会社である大徳証券株式会社を IFA (金融商品仲介業) に業態転換させ株式会社だいとく投資ビレッジを設立し社長になりました。この業態転換は過去に事例が無く、いくつものハードルがありましたが、一つ一つ乗り越え日本で第一号の IFA 業者となりました。

山下: 会社を業態転換するにあたり、社内でも反対というか抵抗する方もおられたのでは?

山田: いました。ですから社員に対し接触する時間を増やし「これから会社は変わらなくてはならないんだ!」と勉強会を繰り返し行い、理解をしてもらいました。

山下: 経営者として持ち前のリーダーシップを發揮されたんですね。

山田: これからも金融業界はますます厳しくなっていくと思います。その中で我々は大手さんには出来ない本当にお客様に密着して悩みに耳を傾け、人生プランを立ててお客様に提案するサービスを展開したいと考えています。その為に社員教育という投資を行いゴールベースアプローチ(個人個人の夢や目標を叶えるため資産を管理していく方法)に取り組み、お客様の期待に応えていきたいと考えています。

山下: 現役の学生の中には、卒業後金融関係の会社に進みたいと夢を持っている人が多くいると思います。是非学生達の力になって下さい。そして母校の学生を御社でも採用してください。

山田: 分かりました!金融関係への就職を考えている学生を対象にガイダンスなどがあれば喜んで母校にお伺いしお話しさせていただきます!

山下: 最後に校友の皆さんにメッセージをお願いします。

山田: 経法大で学んだ事は自分の人生の歴史の中でとても大きな財産になっています。これからも校友会活動や SNS 等を活用して校友の皆さんとの出会いを大切に御縁を活かしてお役に立ちたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

山下: 今日はお忙しい中、ありがとうございました。益々の御活躍をお祈りします。また一杯やりながら会社経営の話を楽しみましょう。

※日本の社長 tv <https://j-president.net/aichi/daitoku-iv/>





野村 裕基 さん (法学部23期生)

三重県鳥羽市消防署副署長
(三重県伊勢高校出身)

消防署の副署長として、市民の安全の為に『消火活動』『救急活動』『救助活動』の最前線で日々奮闘されている野村裕基さん。校友会三重支部の副支部長も務められ、紹介して下さった濱口元洋常任幹事にも加わってもらい、Zoomでお話を伺いました。これと決めたら決してぶれない、流されない、染まらない、自分をしっかり持った方でした。

オブザーバー 常任幹事 濱口元洋さん
インタビュアー 常任幹事 山下浩希

山下:初めまして。山下浩希と申します。

野村:野村裕基と申します。

山下:「HIROKI」同士ですね(笑)。宜しくお願いします。先ず、野村さんが経法大に入学された経緯から大学生活までをお話してください。

野村:将来公務員になりたいという事で法学部志望しました。地元の三重大が第一志望で、法学部のある関西、東海の大学も幾つか滑り止めとして受験しましたが全滅し結果的に経法大だけ合格し入学しました。入学してからは3年までに単位をしっかりと取って4年では実家からゼミだけ出ようと考え、特段サークルにも入らず単位を取るための勉強は勿論、正課授業以外の6限目7限目に行われるエクステンションセン

ターの資格講座も受講していました。

山下:勉強一筋ですね。学生の本分は勉強というのは言うまでもありませんが、クラブ・サークル活動やアルバイト等はあまりせず、そこまで頑張って勉強した原動力は何だったのですか？

野村:高校が進学校で全国の有名伝統校に入った友人達に気後れしているところがあり、そんな彼らに「どこかで追い付きたい!」という気持ちがあったのです。ぶっちゃけ「反骨精神」です。

山下:僕なんかは目標を立てても甘い誘惑に負けてそっちに傾き流されてしまうのですが、野村さんは違ったのですか。

野村:そういうわけではないのですが・・・自分で目標を立てたことに関しては、私は途中で諦めるというのが大っ嫌いです!

山下:4回生になり就職活動はどうでしたか？

野村:第一志望は県庁、第二志望は市役所職員を目指し、地元銀行など民間も含めて活動しました。その中で市役所の消防職員に合格し現在に至っています。入庁し先ず8か月間は県消防学校で学びます。そこはとても厳しく、同期同士で励まし合いながら卒業し、現在の消防署に配属されました。私の在籍する消防本部は小規模なので119番は毎日10回くらい、出勤も毎日5回程度ですが、常に緊張感をもって働いています。消防士になって25年、階級も上がり現在は副署長をしています。自分の出世の為に上を向いて働くのではなく、消防士は先ず市民に目を向け、地域活動にも積極的に参加し、そして消防組織では上司より部下(仲間)を見るようにしています。自分に厳しく言動を一致させチームを纏め引っ張る、それがリーダーの役目だと思います。

山下:校友会へ関わるきっかけは何だったのですか？

野村:総会の案内や会報は届いていても軽く目を通す程度だったのですが、10数年前に鈴鹿市消防本部にお勤めの飯田智博先輩(法学部15期生)に「自分、経法大やろ。今度支部総会一緒に出ようよ」と誘われ出席したのが始まりです。

山下:濱口さんから見て、野村さんってどんな方ですか？

濱口:消防士という仕事柄もありますが、今いろいろ話を聞いて判ったと思いますが、物凄く真面目で堅くリーダーシップもあり支部運営も安心して任せられる方です。僕は野村さんにはこれから支部を更に発展させて欲しいと思っています。三重支部にはそのような人材が揃っているのが自慢です。

山下:野村さんは三重支部に誘われそのまま支部幹事になりましたが、いかがですか？

野村:それまでまったく母校と関りが無かったのですが、足を踏み入れてしまった以上、責任を感じてやらせていただいています。

山下:最後に全国の校友や警察・消防を目指す現役の学生にメッセージをお願いします。

野村:支部活動を通じて校友の皆さんともしっかり関わっていきたくと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私の座右の銘は「日々は決戦」です。後輩の皆さんには在学中「何を勉強したか」より「何をしてきたか」が大切です。毎日が勝負だと思い、常に緊張感を持って自分を磨いてほしいと思います。人は社会に貢献するようなボランティア活動等を積極的に取り組んでやり続けると成長できます。採用する側の立場からすれば、そうした経験をした学生には良い印象を持つと思います。

山下:周りに流されず自分の夢に向かって努力を続ける。今日はたいへん勉強になりました。

ありがとうございました。今度は総会や経法祭でリアルにお会いして語り合いたいです。



第51回経法祭が開催されました

11月12日(土)、第51回経法祭が花岡キャンパスで開催され、たくさんの在學生、卒業生、地域の方々にご来場いただきました。

当日は、天候にも恵まれ、特設ステージで行われたオープニングセレモニーで幕を開け、学生たちは日頃の活動成果を存分に発揮していました。

また、今年の経法祭では、3年ぶりに学

生たちによる模擬店が出店され、会場となった花岡キャンパスは終始学生たちの笑顔と笑い声に包まれた1日となりました。

校友会では、在學生支援企画として『食品詰め合わせセット無料配布』を行いました。

今回は当日の朝から校友会本部役員と各支部役員が一丸となって配布する食品の袋詰め作業を行いました。午前・午後の2回、計250セットを準備しておりましたが、在學生の皆様

に好評で、配布まもなく終了となりました。今後も卒業生とその家族、在學生、教職員、地元住民との交流ができるよう、役員一体となり取り組める企画を提案し実施する予定です。



第51回経法祭実行委員会

大谷昌広委員長からのメッセージ

第51回経法祭は、例年を超える賑わいで来場の方々を迎えることができました。これほどの盛況を博すことができましたのも、校友諸兄弟をはじめとした、多くの方々の御助力あつてのことで、厚く御礼申し上げます。

校友会で実施いただきました、「在學生支援企画」については、「充実した内容で、もらってとても嬉しかった」といった声を聞いております。また、今回は、支援企画・校友会についての説明をパンフレットに掲載することができましたので、多くの学生に周知することができ、これで校友会を知ったという学生も多くあったようです。今回を嚆矢として、両会の、ひいては本学の発展がなされることを祈念いたします。

卒業生ニュース!!

R-1グランプリ2022で優勝!!

2022年3月、フジテレビ系列で放送された芸歴10年以内のピン芸人日本一を決めるコンクール『R-1グランプリ2022』に於いてお見送り芸人しんいち(上野晋一・法学部34期生)さんがエントリー3199名の中から見事優勝され頂点に立ちました!



(写真提供 株式会社グレープカンパニー)

以下、上野さんからのコメントです。

大阪経済法科大学卒、お見送り芸人しんいちです!

瓢箪山駅からバスで行った一年生、
お金が無いので晴れの日には自転車で行きあの坂道を汗だくになった二年生、
バイクを買って行った三年生、
夢に向かうか就活するか悩みまくった四年生、
ほんまにあの大学生活は無駄ではありませんでした。
夜景のキレイな経法が大好きです。

お見送り芸人しんいちさんの益々の御活躍をお祈りします。

【3年連続の快挙!】令和4年司法試験 本学卒業生4名合格

9月6日、令和4年司法試験の合格発表があり、校友の4名が見事合格されました。

昨年の司法試験合格者3名、一昨年度の4名に引き続き、3年連続難関試験合格の快挙であり、3年間での合格者は11名となりました。

なお、今回の合格により、校友の司法試験合格者数は合計で18人となります。

改めて、皆様の司法試験合格を心よりお祝いするとともに、これからの司法修習に励まれ、法曹としてご活躍されることをお祈り申し上げます。



校友会公式 YouTubeチャンネルの開設

校友の皆様、こんにちは。現在、常任幹事を務めさせていただいております富山源太郎（経済学部32期生）と申します。突然ですが、皆様は普段、スマートフォンやPCなどで動画を観る時間はどれくらいありますか？私は仕事柄、ほぼ毎日1時間ぐらいYouTubeで動画を観ています。だいたい、1週間で10時間ほど観るヘビーユーザーです。（その代わりに、テレビを観ることはほとんどなくなりました）私が観ている動画のジャンルは幅広く、ニュース・エンタメ・スポーツ・音楽など多岐に渡ります。私がYouTubeを愛用している一番の理由は「自分の好きな時間に観たい動画を観ることができる」です。これは恐らく、皆様も共感していただける部分かと思えます。

少し前置きが長くなりましたが、今年から校友会をもっとたくさんの人に知ってもらうために、「校友会公式YouTubeチャンネル」を開設しました。これまで、ホームページ・校友会報などを通じて、校友会の活動内容を発信して参りましたが、「更

に分かりやすく、多くの人に知ってもらう」をコンセプトにYouTubeでの動画配信と公式Twitterをスタートさせました。詳細は以下に記載しておりますので、ぜひご覧ください。

ここで少し動画のメリットについて述べさせていただきます。皆様は動画の情報量についてご存じですか？実は動画は「何かを伝える」には最高の手段なのです。一番有名な研究では「1分間の動画=WEBページ3,600ページ」に相当すると言われています。3,600ページのWEBページは、書くのも読むのも膨大な時間がかかり、とても大変ですよね。それが動画だと、たった1分で補えます。動画を使って、情報収集したり、自社の商品やサービスをPRするには、忙しい現代人にとって必須のツールであることは明白です。また、今はスマートフォンさえあれば、誰でも簡単に動画を使って情報発信できる時代になりました。その典型例がYouTuber（ユーチューバー）だと思います。よく小学生の人気職業ランキングに登場しますよね。ちな

みに、世界のユーチューバーはどれぐらい稼ぐか皆様はご存知ですか？有名経済雑誌フォーブスによると、世界一稼ぐユーチューバーは23歳のアメリカ人男性（ミスタービースト）で、年収5,400万ドルです。日本円に換算すると81億円です。（1ドル：150円換算）。ちなみに、日本一稼ぐユーチューバーはフィッシャーズという日本人男性6人組のグループで年収は5億5,000万円とされています。私は小学生にユーチューバーを目指して欲しいと言いたいのではなく、これだけのお金が動くということは世の中にニーズがあるからです。（あまりマニアックな話を続けてしまうと、本来の趣旨からそれてしまうので、この辺にしておきます）

最後になりますが、これから校友会では公式SNSを使って、たくさんの情報発信を続けていきますので、皆様のフォローやチャンネル登録をお願いします。一緒に校友会のSNSを盛り上げてください。よろしくをお願いします。

YouTube
チャンネル



Facebook



Twitter



SNSでは、校友会の活動や母校の現況などの情報を発信しています。

校友会報掲載内容については、校友会事務局までお問合せください。

大阪経済法科大学校友会事務局

〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10

TEL/FAX 072-941-8268

E-mail kouyuukai@keiho-u.ac.jp

（受付時間）月・水・金曜日 10時～15時

上記以外はFAX及びメールにてお問い合わせください。

<編集後記>

今回の会報。一向に収まらないコロナ禍で限られた中での活動とこれまでより紙面を増やして7名の校友に御登場頂き皆さんの活躍ぶりを載せました。御登場の皆さんはそれぞれ人生の夢・目標を明確に持ってそれに向かって邁進している方ばかりでした。まさに『経法魂』の持ち主です。全国各地各界での校友の活躍、誇らしく感じますね。 (山下)